

# 戦 評

大会名 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子 ・ 女子 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：多田 直樹

副 審：大山 幸司

試合結果

<u>不来方</u>	3	$\left\{ \begin{array}{l} 25-16 \\ 25-22 \\ 18-25 \\ 25-22 \end{array} \right.$	1	<u>一関修紅</u>
------------	---	---	---	-------------

戦 評

試合時間 1時間35分

第1セット序盤は互いに固さが見られたが、不来方が7番新谷のブロックや2番只野のサーブで抜け出す。一関修紅も3番金野のスパイクで反撃するが、不来方のディフェンスの前に攻撃を封じられ、不来方がセットを奪う。第2セット、中盤までは一関修紅がリードしていたが、4番木村のサーブで流れを変えた不来方が競り合いをものにしてセットを連取した。第3セット、後がなくなった一関修紅は、得意のサーブからリズムを掴み、4番武田のスパイクを中心に攻撃し、リードを保ったまま押し切った。

第4セット、序盤は互角の展開が続くが、一関修紅の3番金野のスパイクをブロックした不来方が主導権を握る。一関修紅も2番畠山のサーブや8番のセッター石川を投入して立て直しを図るが、不来方のスパイカー陣は1番の南谷の多彩なトスワークに導かれて得点を重ねる。試合を通して好守のバランスの良さが光った不来方が、6年ぶり13回目の全国大会出場を果たした。

※7～10行にまとめること。

戦評者：田中 哲

岩手県バレーボール協会